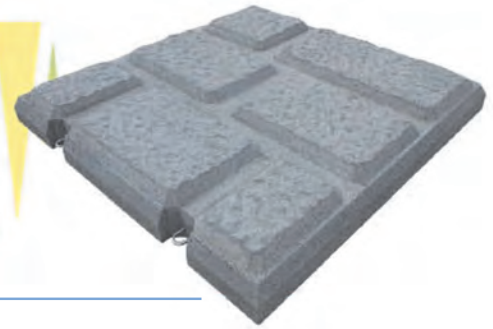


## 2-10 スパイクブロック

### アンカー式護岸ブロック

# スパイクブロック



#### 特長

##### 対応流速が高い

- アンカーピンを打込ことで、1割5分以上の法勾配で流速約10mまで対応可能です。
- ブロックマットと比較しブロック重量が大きいので、流水力に対して安定となります。

##### 施工性

- 基礎コンクリートが不要で施工日数を短縮できます。
- 天端ブロックからの施工が可能です。

##### 構造

- 目地モルタルを施工することで水密性の護岸を構築できます。
- ポーラスコンクリートとすることで透水性護岸を構築できます。

##### 景観

- 上記構造を選択することで、植生護岸および防草景観護岸を選択できます。
- 明度、テクスチャーとも満足しています。

護岸ブロック緩勾配規格選定一覧表  
スパイクブロック

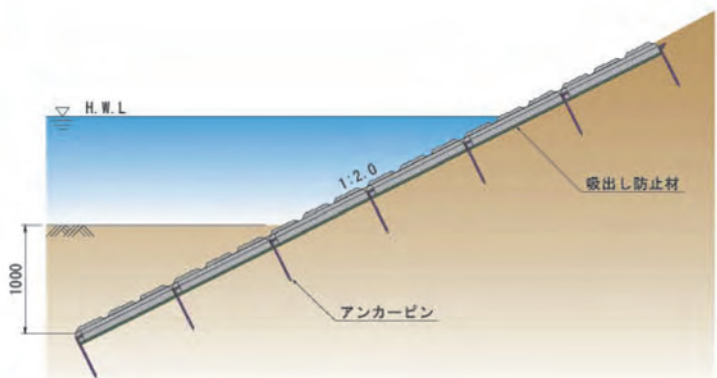
規格	コンクリート種類	ブロック質量(kg)	対応流速(m/s)	明度低減	法面の植生	水際の植生	背後地透水性
普通コン	粗面コンクリート	371	10.96	○	×	×	×
ポーラス	7号ポーラス	338	10.49	○	○	○	○

×：期待できない △：ある程度期待できる ○：期待できる  
設計対応流速は護岸勾配 1：2.0・設計水深 5.0m までの計算値です。

#### 施工例

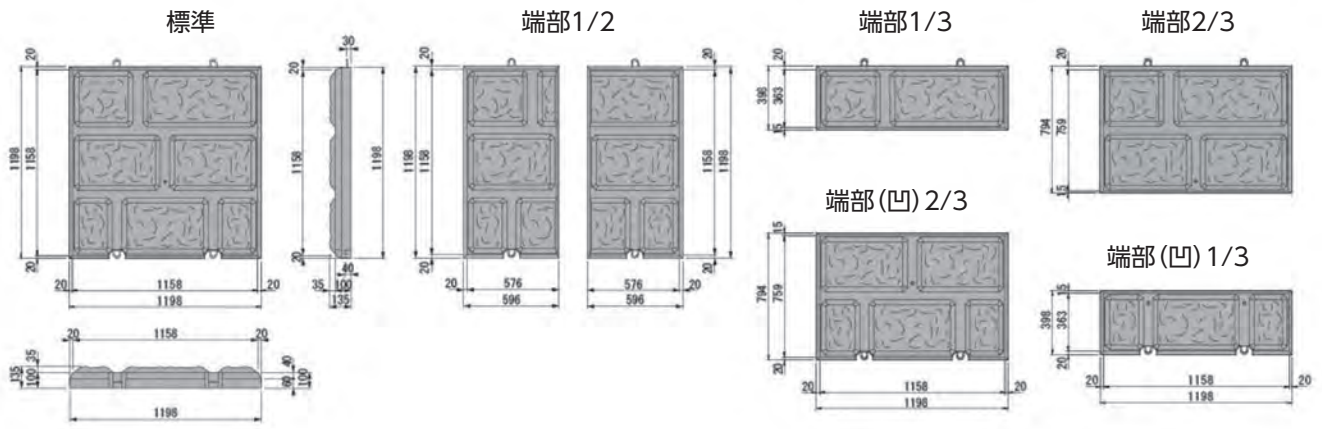


#### 標準断面図



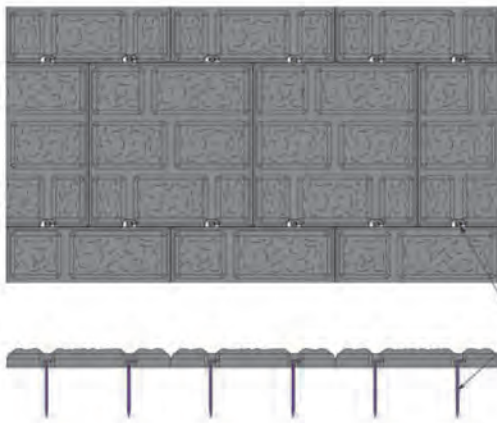
# 2-10 スパイクブロック

## 単体図

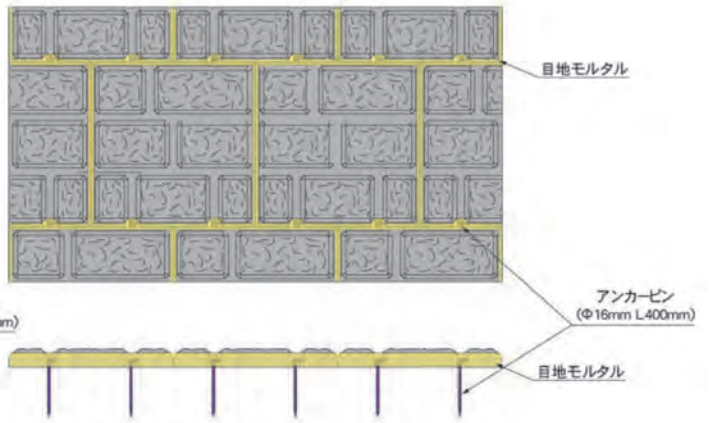


## 施工参考図

ポーラスコンクリート(植生タイプ)



粗面コンクリート+目地モルタル(止水・防草タイプ)



呼び名		参考質量 (kg)	寸法 (mm)	備考
標準	粗面コンクリート	371	1198×1198×135	
	7号ポーラス	338		
端部1/2	粗面コンクリート	185	1198× 596×135	
	7号ポーラス	168		
端部1/3	粗面コンクリート	123	398×1198×135	
	7号ポーラス	112		
端部2/3	粗面コンクリート	248	794×1198×135	
	7号ポーラス	226		
端部(凹) 1/3	粗面コンクリート	118	398×1198×135	
	7号ポーラス	108		
端部(凹) 2/3	粗面コンクリート	244	794×1198×135	
	7号ポーラス	222		

間詰モルタル量：0.230m<sup>3</sup>/100m<sup>2</sup>

### 製品明度

平均明度	5.0
------	-----

### 製品テクスチャー

輝度の標準偏差	30
---------	----